



COMPANY'S  
CHALLENGE

NO.100



## 地域と人をむすび、 福岡をさらに魅力ある都市へ

### 【プロフィール】

1973年生まれ、福岡市出身。福岡大学卒業後、東京都内の不動産会社勤務を経て、㈱福住入社。2005年専務取締役、2010年代表取締役社長就任。趣味はゴルフ・旅行。

株式会社福住 代表取締役社長 河野 孝雄氏

### 働きやすい環境づくりで クリエイティブな仕事は生まれる

事業用不動産売買や、オフィスビル・商業店舗・借り上げ住宅など法人向けの賃貸仲介、賃貸マンション・ビル管理などを展開する㈱福住。1975年の創業から約50年にわたって、中央区天神を拠点に、時代や街の変化に合わせた不動産事業を展開しています。バブル崩壊によって土地売買の動きが停滞していた1994年には、福岡の不動産業界でいち早くコインパーキング事業に乗り出すなど、総合不動産会社として多岐にわたる挑戦を続けてきました。

2010年に代表取締役社長に就任した河野孝雄さんは、「まもなく創業50周年を迎えますが、地域に求められる

企業であり続けるのに一番大切なのは、やはり人。社員がクリエイティブな仕事を提供することが重要だと思っています。そのため、まずは、土台となる社員の働きやすい環境づくりに力を入れてきました」と話します。

待機児童が社会問題となっていた2018年には、本社ビル2階に企業主導型保育園の「ふくふく西通り保育園」を開設。企業主導型保育園は、内閣府が従業員の働き方に合わせて柔軟な保育サービスを提供する企業の支援制度として2016年から創設したもので、福住でも子どもを育てる社員が企画に参加して設置されました。現在では数多くの企業と提携しています。

また、全社員への生命保険の加入を会社負担にしたり、毎年の女性社員へ

の婦人科健診費用の補助をしたりすることをはじめ、社員の縦と横の繋がりを強くするための委員会活動など、心身ともに健康的に働ける制度づくりに取り組んでいるといいます。

「アイデアを思いついたら、すぐに行動してしまいます」とほほ笑む河野さんですが、取り組んだ中には、社員からの提案で実現したものも数多くあるそうです。「当社では、社員の日頃の考えやお困り事を拾い上げる面談制度（モラルサーベイ）を実施しています。例えば、不動産業界では珍しい完全土日週休2日制（繁忙期除く）の導入は、社員と一丸となってデジタル化を進め、実現しました。さらに、直近2年間では7%のベアも実施しました」と河野さん。

これらの取組みの効果もあり、若手



1 現在20名の園児が通う「ふくふく西通り保育園」。社員以外にも、天神エリアで働く方や地域住民が利用しているという

3 「HiRaKuで九州のファンづくりをしたい」と意気込む河野社長（左）とコミてん金山社長（右）

2 社内には8つの委員会を設置。社員主体でアイデアを出し合い、広報委員会では「一人一花運動」にも参加

4 HiRaKuのオープンイベントには、3日間で約1,000名が来場。九州各地の魅力を発信する拠点として、随時イベントが開催される

でもベテランでも、多様なアイデアを語りあえる風土が創出されてきているといえます。

### 地元コミュニティFM局とコラボした 交流文化創造拠点「HiRaKu」を開設

「クリエイティブな仕事を提供する」という河野さんの想いは、社外にも広がりを見せています。そのシンボリックな取組みが、2024年1月に開業した天神・新天町の《交流文化創造拠点「HiRaKu」》です。

「HiRaKu」は、「人と人を、地方と都市をむすぶ、むすんだものを日本中に、世界に拓く」をコンセプトに、食・伝統・文化が数多く存在する九州の魅力を全国に発信するハブとして、コミュニティラジオ天神（コミてん）を手がける（株）コミュニティメディアパートナーズ福岡と共同で運営。

その始まりは、2022年の福岡商工会議所 理財部会主催の東京視察会だったといいます。「懇親会でたまたま隣に座られたのが、婚礼や宴会事業など総合プロデュース事業を展開する東京の（株）八芳園の井上社長でした。八芳園が

東京・白金台で手がけていた全国各地の魅力的なコンテンツを取り上げるポップアップ型ショールーム「MuSuBu」のお話を伺い、大いに触発されました。同じような拠点を福岡でも創りたいと企画を始めました」と河野さんは振り返ります。

もともと福住と連携関係にあった市民参加型のラジオ局・コミてんでも、地方自治体の関係者や地域の人から街のPRについて相談を受けることが多く、ラジオ局に併設する直営のカフェで様々なポップアップイベントを行っていました。そのような背景から、八芳園は地域活性化と訪日客誘致を目的に、コミてんと2023年7月にパートナーシップ協定を締結。互いの交流拠点を活用するなど、取組みが始まりました。

そんな福住とコミてんがコラボし、「HiRaKu」がオープンしたのです。

### 地域と人がむすびつくことで 福岡はさらに発展

「HiRaKu」がある天神・新天町は1日に約2万人が通る場所です。1月のオープンイベントでは、3日間で約1,000

人のお客様にご来場いただきました。これは、新天町の潜在力の高さを物語っており、さらに面白いことができるのではないかとワクワクしています。九州の魅力を全国に発信するだけでなく、県外の企業と九州の企業との連動、新天町のお店と自治体とのコラボなど…可能性は無敵大です」と河野さんのアイデアはあふれんばかり。

さらに、「今の福岡・天神が素晴らしい街なのは先人の皆さまのおかげだと思っています。地域に育てていただき成長してきた福住としては、今後も地域のお役に立てる仕事をして、さらに盛り上げていきたいです」と河野さんは次の50年に向けて意気込みます。

取材日：3月19日



株式会社福住

〒810-0001

福岡市中央区天神2丁目4番15号 プリオ天神ビル

TEL:092-712-0245

<https://www.fukuju.co.jp/>